



AMR対策臨床セミナー

眼科領域の抗菌薬適正使用を考える

薬剤耐性(AMR)対策は、2023年に新「薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン」が発表され、さまざまな取り組みが進められています。抗菌薬の適正使用の推進は、アクションプランの1つの大きな目標であり、病院や診療所で進められてきました。「かぜに抗菌薬は効かない」と啓発活動が進められ、日本の多くの医師は「気道感染症に抗菌薬はほとんど処方しない」と意識するようになってきており、適正使用の意識は向上してきました。

一方で、抗菌薬は、気道感染症以外の他の疾患にも使用されており、今後は個々の診療科・疾患毎に具体的に適正使用を進めることが必要になってきています。そこで今回は、眼科領域の抗菌薬適正使用について、特にプライマリケアでコモンな疾患である結膜炎と、眼科領域の術後感染予防投与を中心に考えてみたいと思います。

眼科領域での抗菌薬適正使用について、専門の先生に話を聞けるチャンスです。プライマリケアに関わるすべての医療従事者(内科医、小児科医、薬剤師、看護師など)、AST・ICTのメンバーの方、研修医や専攻医の先生方、ぜひご参加ください。

2024年1月20日(土) 15:30-17:00

会場：ステーションコンファレンス東京 5F 503AB

東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー 5F

プログラム

AMRの現状 -疫学、機序、アクションプランなど-

大曲 貴夫

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院
AMR臨床リファレンスセンター センター長

Norio Ohmagari



眼科領域における抗菌薬の適正使用

-結膜炎、術後感染予防投与を中心に-

佐々木 香る

関西医科大学 眼科学講座 病院教授
日本眼科学会専門医/指導医 Infection Control Doctor

Kaoru Sasaki



●参加申し込み

下記URLのフォームより、ご登録ください

締め切り：2024年1月19日(金) 12:00

- ◆ 来場参加:40名 (先着順)
- ◆ オンライン参加:500名 (先着順)



https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_ogQ52EEkSTK7qvjMhQgl0Q

取得可能単位 (申請中)

ICD制度協議会の推薦するその他の講習会、教育企画2点 (更新用 ICD認定者のみ)

ステーションコンファレンス東京

東京都千代田区丸の内1-7-12
サピアタワー 4-6F
TEL 03-6888-8080

アクセス

- ・JR東京駅 日本橋口直結
新幹線日本橋口改札 徒歩1分
八重洲北口改札 徒歩2分
- ・東京メトロ 東西線 大手町駅
B7出口直結

